

柘水高原でフサヒゲルリカミキリの再導入試験実施中

■フサヒゲルリカミキリってなに？

フサヒゲルリカミキリは絶滅のおそれのあるカミキリムシの仲間です。草原に生息し、ユウスゲの茎や葉を餌としています。かつては柘水高原を含む国内の複数箇所に分布していましたが、近年では、岡山県の一部にのみ生息しています。

■絶滅させないための取り組み

昨年6月、再導入のための試みとして、柘水高原に飼育下で繁殖した個体を放しました。また、ユウスゲが十分に成長するよう、放虫の前に、柘水高原の草刈りを実施しました。フサヒゲルリカミキリの生息環境を守るためには、草刈りが大切です。今年も柘水高原において、草刈りをし、再導入試験を続ける予定です。昨年の放虫後、産卵が確認されたため、今年新たなフサヒゲルリカミキリがでてくることが期待されます。フサヒゲルリカミキリが再び生息できるよう、皆様のご協力をお願いします。

お願い

- 柘水高原でフサヒゲルリカミキリを見かけても、触れずに、そっと見守ってください。
(※捕獲には種の保存法に基づく許可が必要です)
- もし見かけたら、目撃情報(いつ、柘水高原のどこで、何匹)の提供をお願いします。



フサヒゲルリカミキリ
成虫の体長は15~17mm
触角の一部がフサ状になっている



ユウスゲ
7~8月に黄色の花をつける

問い合わせ先

環境省 中国四国地方環境事務所 野生生物課 ☎ 086-223-1561
メール REO-CHUSHIKOKU@env.go.jp

リチウムイオン電池を使用した製品は 不燃ごみに出さないでください

不燃ごみ処理施設(リサイクルプラザ)では、リチウムイオン電池を使用した製品が原因となる火災事故が増加しており、年間260件程度、月間20~21件発生しています。

廃棄の際は、小型家電回収ボックスを利用するなど、お住まいの市町村が指定する方法で、適切な廃棄をお願いします。

【リチウムイオン電池を使用した 充電式製品】

- モバイルバッテリー
 - スマートフォン
 - 電子・加熱式たばこ
 - 電気かみそり
 - コードレス掃除機
 - ロボット掃除機
 - ワイヤレスイヤホンなど
- コンセントから取り外して使うことができる充電式の電化製品

問い合わせ先

鳥取県西部広域行政管理組合 リサイクルプラザ
☎ 0859-68-4071

鳥取県 後期高齢者医療懇話会委員の募集

後期高齢者医療制度の運営等について、被保険者の皆様のご意見を伺うために設置した懇話会の公募委員を募集します。

◆任期：令和7年4月1日~令和9年3月31日(2年間)

◆応募資格：
・鳥取県内に住所を有する満75歳以上の人
・鳥取県後期高齢者医療制度の被保険者(令和7年4月1日現在)の人

◆募集人員：6人以内

◆応募方法：応募申込書に必要事項を記載して提出

※募集要領・応募申込書は、鳥取県後期高齢者医療広域連合のほか、伯耆町役場健康対策課の窓口で配布します。また、鳥取県後期高齢者医療広域連合のホームページからも印刷できます。

◆受付期間：2月3日(月)~3月14日(金)まで(必着)



◀詳しくはこちら
(鳥取県後期高齢者医療広域連合ホームページ)

問い合わせ先

鳥取県後期高齢者医療広域連合 総務課
☎ 0858-32-1097